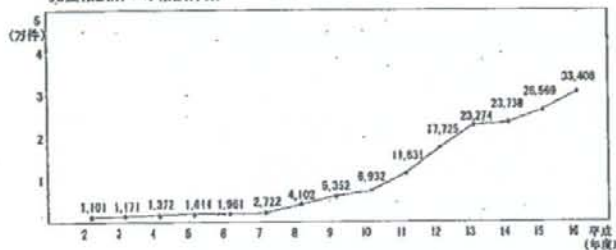


虐待相談件数

出典：「平成17年度児童相談所における児童虐待相談対応件数」厚生労働省

14年で30倍へ

児童相談所への相談件数



虐待の内容(100%)



主たる虐待者(100%)



虐待死

出典：「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について 第三次報告」社会保険庁調査委員会

1週間に1人が死亡（平成16年7月～平成17年12月まで135人の子どもが虐待により死亡）

死亡した子どもの年齢(100%)

主な加害者(100%)

地域社会との接触(100%)



子ども虐待の発達の影響

- 人間の子どもは他のどの動物よりも圧倒的に養育者に依存した生活を送る期間が長い
 - 人間の幼年・小児期は大型類人猿の2倍の長さがある
- 養育者は安全や物質的・心理的ニーズを提供してくれる存在
 - 虐待によって正常な発達にダメージを受けるリスクは高い

子ども虐待の影響：心理的 >> 身体的、永続的

表1 生涯にわたる機能領域における虐待・ネグレクトの潜在的影響

発達期	機能領域			
	神経学/医学	知性/認知	社会/行動	心理/情緒
児童期 ↓ 成人期	軽度の損傷	IQ低下	攻撃性	不安
	脳損傷/機能不全	不注意	怠学	抑うつ
	神経生物学的影響	学習障害	家出	自尊心低下
	知的障害	学力の欠如	非行	低い対処技能
	言語障害	低い読解力	乱交	敵意
	身体的障害	学業不振	売春	自殺企図
	致死	落位	10代の妊娠	PTSD
		問題飲酒	解離	
		薬物使用	境界性パーソナリティ障害	
		犯罪および暴力	身体化障害	
		パートナーへの暴力	多重人格障害	
		子ども虐待		
		失業		

次世代への影響

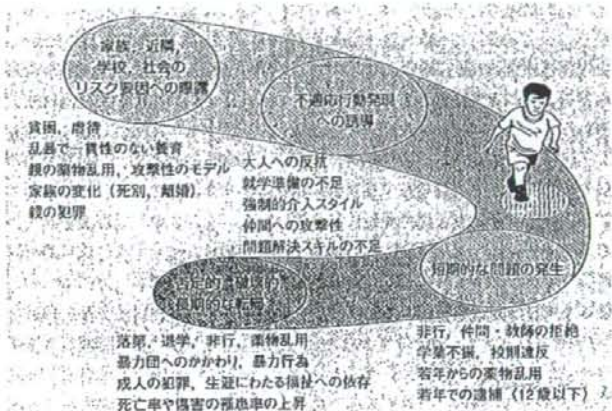


図1 ハイリスク児の長期的転移の経路

(Walker HM, et al. *Intervention in School and Clinic* 1999⁴³⁾ より)

児童虐待の4条件

- 虐待しやすい親
 - 精神疾患、知的障害、子ども時代に愛されていない
- 生活にストレスが累積
 - 育児負担、経済不安、夫婦不和
- 心理社会的に孤立
 - 育児の相談者や援助者がいない
- 親にとって望まぬ子や、育てにくい子

虐待早期発見のチェックポイント 地域社会で 子どもの様子

- 不自然な傷が多い
- 不自然な時間の徘徊が多い
- 衣服や身体が非常に不潔である
- 常にお腹を空かせていて、与えると、隠すようにして
がつがつ食べる
- 凍り付いたような眼であたりをうかがったり、くらい顔
をしていて周囲と上手く関われない
- 傷や家族のことに関して不自然な答えが多い
- 性的なことで過度に反応したり不安を示したりする
- 年齢の割に性的遊びが多すぎる

(千葉茂明、児童心理、2006)

虐待早期発見のチェックポイント 地域社会で 親の様子

- 地域の中で孤立しており、子どもに関する他
者の意見に被害的・攻撃的になりやすい
- 子どもが怪我をしたり、病気になっても、医者
にみせようとししない
- アルコールを飲んで暴れていることが多い
- 小さな子どもをおいたまましょっちゅう外出し
ている

(千葉茂明、児童心理、2006)

虐待早期発見のチェックポイント
保育所・幼稚園・学校などの集団生活の場で
子どもの様子（乳児）

- 表情が乏しく笑顔が少ない
- 特別の病気がないのに体重の増えが悪い
- いつも不穏な泣き方をする
- おびえた泣き方をする
- 不自然な傷がある
- 時折意識レベルが低下する
- 予防接種や健診を受けていない

（千葉茂明、児童心理、2006）

虐待早期発見のチェックポイント
保育所・幼稚園・学校などの集団生活の場で
子どもの様子（幼児）

- 表情の深みがない
- 他者と上手く関われない
- かんしゃくが激しい
- 不自然な傷ややけどの跡がある
- 傷に対する親の説明が不自然である
- 他者に対して乱暴である
- 言葉の発達が遅れている
- 身長や体重の増加が悪い
- 衣服や身体が常に不潔である
- 基本的な生活習慣が身につけていない
- がつつした食べ方をしたり、ひとに隠して食べるなどの行動が見られる
- 衣服を脱ぐことに異常な不安をみせる
- 年齢不相応の性的な言葉野性的な行為があらわれる
- 他者との身体的接触を異常に恐がる

（千葉茂明、児童心理、2006）

虐待早期発見のチェックポイント
保育所・幼稚園・学校などの集団生活の場で
子どもの様子 (学童)

- 万引きなどの非行がみられる
- 落ち着きがない
- 虚言が多い
- 授業に集中できない
- 家出を繰り返す
- 理由がはっきりしない欠席や遅刻が多い

(千葉茂明、児童心理、2006)

虐待早期発見のチェックポイント
保育所・幼稚園・学校などの集団生活の場で
親の様子

- 教師との面談を拒む
- 孤立している
- 被害者意識が強い
- 苛立ちが非常に強い
- 夫婦仲が悪い
- 酒や覚醒剤、麻薬の乱用がある
- 子どもの扱いが乱暴あるいは冷たい

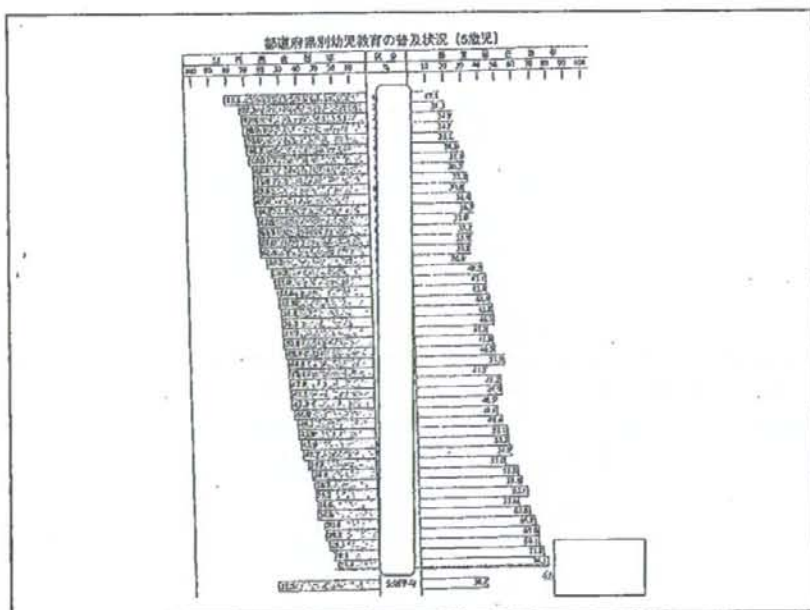
(千葉茂明、児童心理、2006)

基本的信頼感

Sense of basic trust

- 乳児期早期の母子間に受容する・される感覚
- こどもの基本的な人間関係を築く上で必須の基盤になっている
- この基盤の破壊は、人格障害や重篤な精神病理の原因となる

エリクソンにより提唱



訪問時における評価法の
理解と支援

講師 野見山 哲生
(信州大学医学部教授)

訪問時における評価法の理解と支援

信州大学医学部
衛生学公衆衛生学講座
野見山哲生

「ごんにちは赤ちゃん事業」における 訪問員、訪問員支援員の役割

・訪問員支援員

- 医療職として母親にどのような支援が必要か、
母親から感じる、聞く
- 医療職として相談に応じる
 - ・子どもの成長に対する不安
 - ・子育てに対する不安
- 不安を感じている母親に寄り添う

訪問員、訪問員支援員

訪問員、訪問員支援員としての適正

- 基本的なスタンス
 - ・ 母親に寄り添える
 - ・ 相手の考え方を尊重する
 - ・ 個人情報を守る（情報共有と別次元の話）
- チームで仕事に取り組める
 - ・ それぞれの立場を尊重
 - ・ 情報共有
 - 医療職との連携
 - 情報のよどみが無いこと
 - ▶ 一人、一部で抱えない!

「ごんにちは赤ちゃん事業」における 訪問員、訪問員支援員の役割

訪問員

- 家庭訪問時の提供資料の作成
- 要支援家庭の抽出と支援員への結びつけ
 - ・ エジンバラ産後うつ病質問票
 - ・ 赤ちゃんへの気持ち質問票
 - ・ 育児支援チェックリスト
 - ・ 子育て健康プログラムチェックリスト(15項目)

訪問者のチェック項目 (全15項目)

養育環境

- 家族内で育児方針が合致している
- 親族・近隣とつきあいがある
- 育児の支援者がいる
- 家内、家の周囲が整理されている
- 他の介護等の負担がない
- 夫婦の関係が良い

母親(父親)の状況

- 体調が良い
- よく眠れている
- 負担感が無く、疲れていない

- イライラしていない(安定している・苛立っていない)

- 育児上の悩みは無い
- 身体・着衣が清潔
- 喫煙していない

乳児の状態 他

- 子に会えた
- 身体・着衣が清潔
- 身体的に傷は無い
- 上の子への対応が良い

表3 質問票セットⅡ—赤ちゃんへの気持ち質問票

		ID _____			
あなたの赤ちゃんについてどのように感じていますか？					
下にあげているそれぞれについて、あなたの赤ちゃんの気持ちに一番近いと感じられる数値に○をつけて下さい。					
	ほとんどいつも 強くそう感じる	たまに強く そう感じる	たまに少し そう感じる	全くそう 感じない	
1) 赤ちゃんをいとしと感じる。	()	()	()	()	
2) 赤ちゃんのためにしないといけないことがあるのに、自らおろしてどうしていいかわからない時がある。	()	()	()	()	
3) 赤ちゃんのことが自立したしくいやになる。	()	()	()	()	
4) 赤ちゃんに対して女にも特別な気持ちがない。	()	()	()	()	
5) 赤ちゃんに対して怒りがこみあげる。	()	()	()	()	
6) 赤ちゃんの世話を楽しみながらしている。	()	()	()	()	
7) こんな子でなかったらなあと思う。	()	()	()	()	
8) 赤ちゃんを守ってあげたいと感じる。	()	()	()	()	
9) この子がいいなかったらなあと思う。	()	()	()	()	
10) 赤ちゃんをとても身近に感じる。	()	()	()	()	
ご記入日	平成	年	月	日	
ご出生(予定)日	平成	年	月	日	
お名前	_____				
赤ちゃんのお名前	_____				
ご住所	_____				
お電話番号	_____				

(信田母子、山下 昌、日本語学：産後の母親と家庭のメンタルヘルス、母子保健事業誌、夏号、2006)

訪問時評価を有効に活かすために

訪問員評価とそれ以外の方法を併用する

- 訪問員評価
- 他の方の評価
 - ・ エジンバラ産後うつ病質問票
 - ・ 赤ちゃんへの気持ち質問票
 - ・ 育児支援チェックリスト

との関連を調べる（統計学的な検証）



- ・ 訪問員評価項目、訪問員評価以外の評価のうち有為な項目、評価方法の選択

訪問時に手渡すリーフレット

訪問者が客観的な医療の情報をもたらすことが重要



主観的、感覚的な情報で親を混乱させない！

・ Q&A 形式、あるいは、具体的対応方法を示す

- 事故予防
- SIDS
- チャイルドシート、車
- うつぶせ寝の予防
- 夜泣き・泣いたときの対応
- 発熱時の対応
- 栄養（母乳とミルク）
- スキンケア（アトピー性皮膚炎と乳児湿疹）
- 携帯電話・メディアと子育て
- 外出・旅行

誰もが抱く疑問・不安

-事業を行うと

- ・お母さん
- ・お子さん

にとって良い効果があるのか？

評価するには

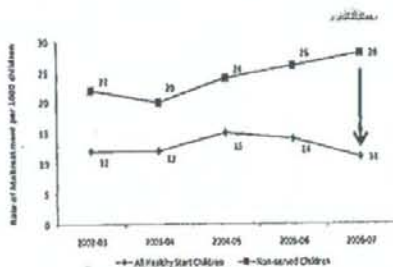
- ・アンケート
- ・質問票

の改善を見ていく



オレゴン州のHealthy Start Program

- ・ 1993年プログラムがスタート
- ・ 2000年州全体で実施
- ・ 初産の全夫婦を対象
 - 実際の実施率は50%
 - 9788人 (2006-07)
- ・ 高リスク家庭には3才までフォロー
 - 2857家族 (2006-07)
- ・ 年間1000万ドルの予算
 - (年間1億2千万円)

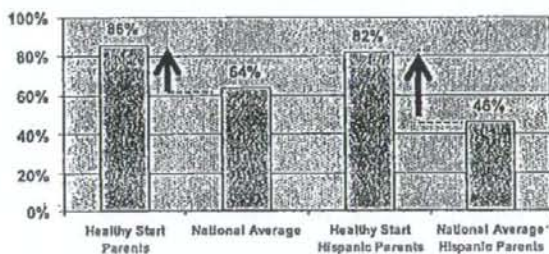


プログラムを実施されている家庭では虐待数の頻度が半減している

<http://www.oregon.gov/OCCYF/>

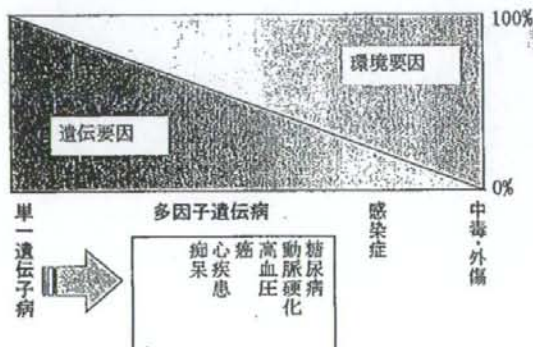
読み書き脳力も向上している

Percentage of Parents Reading to Children 3 or More Times per Week



<http://www.oregon.gov/OCCF/>

遺伝要因、環境要因と疾病



こんにちは赤ちゃん事業 ～訪問員プログラム～

本音を引き出すコミュニケーションのとり方

平成20年2月17日 於：Mウイング

平成20年2月28日 於：松本勤労者福祉センター

(株)ポイント・エフ
コミュニケーションコンサルタント
木口 博文

訪問員には何が必要？

記録表を記入するための「情報」が必要。

どのように情報を得る？

《聞き取り調査》

インタビューのように訪問員からの質問に次々に答えてもらう。

◎話す割合

訪問員＞親 ⇒ 訪問員が主役

◎親の感覚

- ・だんだん取り調べでも受けているかのような問い詰められる感じ
- ・「こんなこと聞いてどうするんだろう？」という疑心暗鬼な気持ち
- ・「適当に答えておけばいいか」という投げやりな気持ち

◎得られる情報

- ・表面的なイエス・ノーの答え
- ・うその情報

《本音を引き出す傾聴》

どのような話もしっかりと聴き、相手を受け止めながら本音を語ってもらう。

◎話す割合

訪問員＜親 ⇒ 親が主役

◎親の感覚

- ・真剣に向き合ってくれている感じ
- ・否定・批判されず、認めてくれている安心感
- ・「本音打ち明けてみようか」という気持ち

◎得られる情報

- ・人それぞれの事実や思い
- ・本物の情報

訪問員に求められるのは、「本音を引き出す傾聴」

本物の情報こそが役立つ情報

本音を引き出す傾聴とは？

訪問員は「本音を語ってもらえる存在」になる
本音を語ってもらえる存在とは



信用できる人

「信用できる人」の条件

- ①秘密を守り、うそをつかない
- ②話を最後までしっかりと聴いてくれる
 - ・話を途中でさえぎらない。
 - ・話を解釈しようとししない。
- ③偏見がなく、相手のことを認めることができる
 - ・言葉遣い、服装などの表面的な部分や第一印象で決め付けない。
 - ・同じ目線で話を聴く。一人の親として認めてあげる。

『親(相手)が主役』の姿勢や意識を忘れない…相手の気持ちになって行動
初めての人が家に入ってくるということは、決して大歓迎ではない。

《本音を引き出す傾聴》

①緊張感を与えない、リラックスできる環境作り

- ・少しカジュアルな格好
- ・相手との距離感に気をつける（相手のエリア（危険領域）に土足で入らない）
「ここに座っていいですか？」

②とことん聴いてあげる姿勢

- ・本当に困っていることは、最初から出てこない。
「うん」「そう」「なるほど」といったうなずき相槌をする。
「～なんだね」と相手の言葉を繰り返してあげる。
- ・すぐに判断しない。

③インタビューではなくリクエスト

- ・訪問員が聞きたいことを聞くだけではない。
「はい」「いいえ」や単語で答えられるような質問ではなく、自由に話せる問いかけをする。（「どのように～」、「具体的にどうですか？」）
「～について教えてくださいませんか？」といった相手に委ねるリクエスト

④自分のフツウを押し付けない

- ・自分の経験に基づくことを正しいと思わない。
- ・自分で解決しようと思わない。

<例1>

訪：何か困っていることはありますか？

親：実は、子どもの夜泣きがひどいんです・・・

訪：子どもの夜泣きで困っているんだね。

親：いえ、すごい困っているというほどでは・・・

訪：まあ、子どもはよく夜泣きするわよね。私も三人の子どもを育てたけど、夜泣きがひどくてね、あなたの気持ちは分かるわ。でも1歳ぐらいになればおさまってくるものだから、それまではお母さんの使命と思って頑張りなさい。

<例2>

訪：何か困っていることはありますか？

親：実は、子どもの夜泣きがひどいんです・・・

訪：子どもの夜泣きがひどいんだね。

親：はい、それで子どもが泣き出すと主人が怒り出すんです。

訪：ご主人が怒るんですね。どのように怒るんですか？

“繰り返し” ⇒ 承認と共感

“開かれた質問” ⇒ 真剣に向き合ってくれている実感

《事実と判断》

事実：起こったこと、話したこと、見たこと。

判断：事実をもとに思ったこと、感じたこと、考えたこと。

<例>

うちの子はあんまりおっぱいの飲みがよくないんです。そのせいか、体重もあまり増えなくて、このままで大丈夫かと心配です。

この話からわかる事実はどういうこと？

以下のことは事実？それとも判断？

- ・赤ちゃんはおっぱいをあまり飲まないんだ。
- ・赤ちゃんはおっぱいをあまり飲まないから、体重が増えないんだ。
- ・この人は赤ちゃんを心配しているんだ。

事実をしっかりと受け止めることが重要！

安易な判断 ⇒ 勝手な解釈 ⇒ 思い込み ⇒ 間違っただ判断 となる。

事実に対して共感する。解釈で共感しない。

判断は最後でいい。

言葉や話の内容だけにとらわれなくて、相手自身をしっかりと見る。

- ・ 話の内容と表情の様子はどうか。
- ・ 何かもっと裏側に隠れているものがあるのではないか。

無理に話をさせようとするのではなく、相手が話をするのを待つ。

会話を楽しもう、話を盛り上げようとはしない。

株式会社ポイント・エフ
コミュニケーションコンサルタント
コーチングトレーナー 木口 博文
上田市本郷 585-11
☎0268-39-1901
✉pointf@kiguchi.info